

中弘建築賞

中部建築賞協議会

第57回中部建築賞

文建

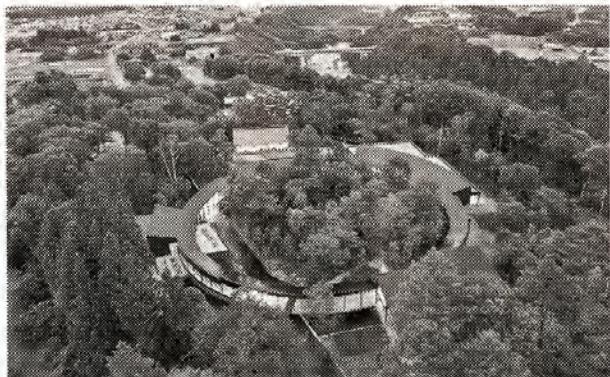
通

秉斤

2025年12月11日 (木)

第57回 中部建築賞

受賞作品20点を発表



▲入賞した「く
すわの森」

康平建築設計事務所、帽
山女學園大學③誠和建設

中部建築賞協議会（宮本文武会長）は、第57回中部建築賞の受賞作品を発表した。今回は応募総数87点の中から、入賞・入選合わせて20作品を選出している。

中部建築賞協議会（宮本文武会長）は、第57回中部建築賞の受賞作品を発表した。今回は応募総数87点の中から、入賞・入選合わせて20作品を選出している。

【一般部門A】
〔入賞〕▽「ぐらすわの
森」建設プロジェクト①
養命酒②ヤマウラ一級建
築士事務所、丹青社③ヤ
マウラ

A PARK BRID
KAGAMIGAHARA
GE①各務原学びの森②
飛驒五木③井上工務店▽
龍泉寺本堂①龍泉寺②河原
原泰建築研究所③アイチ
ケン

△材と鉄と庫②
rchitects一級
建築士事務所③平田建築
▽柔らかな間合い②③ミ
ヤタ建築事務所▽南松山
の住居②伊藤啓輔建築設
計事務所③HDL▽文殊
の家②GA設計事務所③
松久建築③リビングデザ
イン▽連環の家②飛騨五
木5boc archi
tects③井上工務店
▽岐阜鏡島の住宅②伊藤
維建築設計事務所③箱屋
△BIOCHAR②AS

院①厚生会 福井厚生病
院②久米設計③大成建
設

アイタック▽東横山水力
発電所①イビデン②熊谷組中部一級建築士事務所
③熊谷組名古屋支店

【住宅部門】

〈入賞〉▽Grove
Strolling C.
orridor②and
to建築設計事務所③北
野建設
〈入選〉▽House &
Office SH 在

受賞作品は次の通り
①建築主②設計者③施
工者、住宅は建築主非公

ガイシ②日建設一級建築士事務所③清水建設名古屋支店▽りゅうでんオ

ニシヤマナガヤ、未完美術館、駄菓子屋水都軒、コトづくり研究所②植村

E I 建
築 設
計 事
務 所
（3） 加

一般部門 A（入選）

4. リュウでんオフィス・ハウス

岐阜市柳津町下佐波 1 丁目 196 番 1

中部建築賞審査員評



撮影 Tololo studio

CLT の採用は与条件であったとのことだが、オフィスと社員寮・子ども食堂という異なる機能とサイズに対して同じ手法で空間経験に一定の連続性をもたせている。そのアイデアの白眉は、それなりに大判になる CLT パネルを必要壁量を確保したまま二枚をずらして配置することで、見通しのよい空間をつくるというものであった。そして意匠のアイデアではなく構造のアイデアであるところの二枚壁が、空間に微妙な歪みを生じさせ、視線の溜めと抜けとリズムを作り出している。しかしそうだとすると惜しいのは、冷徹なまでに合理的な二枚の壁の厚みが、ずれによって生み出すクランクの部分（オフィスはゼロタッチ、ハウスは溝形鋼分離れている）でちょうどよい人間的寸法になっているのに、働く・住むひとにとってのふるまいを喚起するような現れになっていないところである。構造体のまま放り出されずに、ちょうど半身程度のこの寸法が座ったり隠れたりものを置きたくなったり、といった活き活きとした風景を生み出せていれば、この構造的なアイデアは人間の豊かな経験に回収されるような強度を持つことになっただろうと思わせる。一方、室の配置計画によって空調・非空調領域を組み合わせてエネルギー消費量を抑える方法は、シンプルながら今日的な課題に対する汎用性の高い解答となっており、CLT 採用と合わせて学ぶ点の多いプロジェクトである。

(西澤徹夫)

建築の構造設計に携わってきた経歴を持つ社長から、CLT を採用することが条件とされたことから、CLT 採求の設計プロセスが始まった。構造設計者と時間をかけ CLT の特性を活かす構法が検討・検証され、施工者は見事にその実現に応えて、木質感豊かな建築となった。ビル建築での木造架構では、大断面が支配的になりがちだが、2枚の CLT 版をずらして重ねた面柱にして、鉄骨材とのハイブリッドで、軽やかな構造フレームとなり、オフィス棟では鉄骨梁下に組まれた CLT 小梁が、このオフィスを特徴づけるように空間に伸びやかな秩序リズムを与えている。構法によって床下にできる空間はそのままダクトレスな空調スペースとなり、居住域での温熱環境づくりに寄与している。非空調と空調エリアの明確な区分による無駄のない空調ゾーニングの考え方により、快適なワークスペースのための空気の流れをつくり出しているか、猛暑期や厳冬期に再訪して、体感してみたいところである。

ハウス棟では2枚の CLT 版を溝型鋼でジョイントして同じくずらして重ねた面柱をつくり、CLT 床版で無駄のない架構をつくっている。住居スケールと平面形に応じた耐震要素となる CLT の補助壁の配置も破綻のないきれいな納まりで、木質空間の温かみが存分に体现されている。社員寮（独身者）の計画に、地域への社会貢献を図る「子ども食堂」を組み込んでの運用が、これからスタートするなかで、どのように展開していくか、おもしろい試みである。

建物を構成する素材の質感、その魅力を引き出し、観るだけでは眼を愉しませてくれるこの建築の意義が、街ゆく多くのひとに共有されることを願いたい。経年変化を受けながら、どんな本質が表に現れてくるか、それこそ粹な『然び』を感じ取れる場になって、時・空に奥行きを与えてくれる存在になって欲しい。

(山本和典)

主要用途	事務所、倉庫、社員寮、子ども食堂
構造	オフィス棟：木造一部鉄骨造、ハウス棟：木造
階数	地上 2 階
敷地面積	5996.28 m ²
建築面積	1487.76 m ²
延床面積	2700.49 m ²

建築主	りゅうでん株式会社
設計者	大建設設計株式会社
施工者	TSUCHIYA 株式会社